

ISSN 0389-4452

Bulletin
of
Junior
College
Library
Association

私立短期大学図書館協議会

会報

発行者：前 園 主 計
発行所：私立短期大学図書館協議会
〒112-8687 東京都文京区大塚1-5-2
跡見学園女子大学短期大学部図書館内
電 話 03-3943-1368

2001. 2 No.48

◆平成12年度短期大学図書館全国研修会開催◆

テーマ『参考業務とインターネット』

日 時：平成12年8月30日（水）～31日（木）

場 所：大阪女学院短期大学

参加者：1日目 73名 2日目 67名

主 催：私立短期大学図書館協議会

担当地区：同協議会 近畿地区協議会

1日目

講 演「短期高等教育の動向と準学士課程教育」

関根 秀和氏（大阪女学院短期大学学長）

基調講演「デジタル世界と図書館」

榊原 吉郎氏（京都市立芸術大学名誉教授）

講 演「多文化サービスとレファレンス」

講師 山田 伸枝氏

（国際交流基金 関西国際センター図書館）

経験者インターネット講習 渡辺 智康氏

（プール学院大学図書館）

初心者インターネット講習 濱岡 賢二氏

（大阪信愛女学院図書館）

2日目

テーマ：「レファレンス演習問題」

講師 山田 伸枝氏

昨年度に引き続き、平成12年度の全国研修会も近畿地区協議会が担当することになった。昨年は、インターネットの情報を中心とした演習が大変好評だった。参考業務にインターネットを利用する機会が多くなってきている。今年度も、大阪女学院短期大学の全面的な協力により、1人1台の端末で使用することができた。今回も、参加希望者が多く、インターネットをゆっくり使える環

境を考慮して、参加者を絞らせていただいたことをご報告しておく。

第1日目は、関根秀和氏の「短期高等教育の動向と準学士課程教育」、榊原吉郎氏「デジタル世界と図書館」、山田伸枝氏「多文化サービスとレファレンス」の3講演を行った。続いて、インターネットに比較的慣れた経験者グループ、初心者グループに分かれ、実際にインターネットを使って問題を解く演習を行った。

第2日目は、山田伸枝氏による「レファレンス演習問題」で、インターネットと冊子体を使った参考業務演習が行われた。問題によっては、冊子体を使ったり、インターネットを使ったりと、媒体の選択が重要になる。インターネットを使った場合、サーチエンジンやキーワードの選択が重要であることは勿論、ホームページの更新時期にも注意する必要があることなどを確認した。研修会終了後、「レファレンス演習問題」の解答例集を配布した。



当日は、各参加館が自館で作成した利用案内等を交換資料として持参し、会場に設置した。

恒例の懇親会は、食事をしながら、日頃の業務上の悩みや今後の取り組みについての意見を交換したり、終始和やかな歓談のひとつときとなった。



「短期高等教育の動向と準学士課程教育」

関根秀和氏

短期高等教育時代への移行が始まる理由として、終身雇用および学歴主義の崩壊、IT（情報技術）化による情報環境の激変、教育内容の縮小化と早期のインタレスト化による初等・中等教育の変化、の3点を挙げられた。

大学教育の再構築については、教員と学生の意識のズレが生じている。リベラルエデュケーションの確立が必要である。また、井門富二夫氏の『大学のカリキュラム』を例にとり、「社会変動と共に分化し複雑化する知識・

情報を、ある程度、自分なりに構造化し、ばらばらに広がる概念それぞれを、一定の意味の場にまとめる世界観を育てること」が大事である、と述べられた。最近は、身近な機関を求めている人が多いので、「今後は、短期高等教育時代がくる」と断言された。



「デジタル世界と図書館」

榊原吉郎氏

美術の世界と図書館の関係をわかりやすくお話いただいた。美術の作品はデジタル化して、原寸大で見ることが可能になった。しかし、実物と比べると色が微妙に違ったりするので、本物を見ることを是非薦めたい。特に図書館員は、実物と模写を見比べ実物との違いを自分の眼で見て確認していただきたいと述べられた。



「図書館における多文化サービス」

～多文化サービスとレファレンス～

山田伸枝氏

1999年末現在では、外国籍人口は、総人口の1.2%を占めている。多くの外国人からの質問に対して図書館がどのようなサービスをすることができるのか、事例をもとにお話いただいた。「ネットワーク＝助け合う＝学習の場」を活用したレファレンスは“多文化”サービスの最先端である。図書館のサービスは滞在の利用者も含めた利用者へのサービスである。図書館は「いつでも・どこでも・誰でも・どんな資料でも」を基本におさえることが大事であり、例外も国境もない、と言う精神を述べられた。

全国研修会アンケート集計結果

アンケート実施：平成12年8月31日（木）

回答件数：71名（参加者数72名・回答率99%）

- | | | |
|------------------------|------------|------------|
| 1. あなたの図書館はどの地区に属しますか。 | 16～20年……6人 | 21年以上……11人 |
| 北海道地区……1人 | 東北地区……3人 | |
| 関東・甲信越地区……22人 | | |
| 東海・北陸地区……7人 | 近畿地区……21人 | |
| 中国・四国地区……10人 | 九州地区……7人 | |
| 2. 図書館での経験年数 | | |
| 1年未満……7人 | 1～5年……22人 | |
| 6～10年……16人 | 11～15年……9人 | |
| 3. あなたの当研修会参加回数 | | |
| 初めて……49人 | 2回目……9人 | |
| 3回目……7人 | 4回目……5人 | |
| 5回目以上……1人 | | |
| 4. 今回の研修会のテーマについて | | |
| 満足……38人 | やや満足……16人 | |
| 普通……14人 | やや不満足……1人 | |

- 不満足……………0人 無回答……………2人
5. 講演について
- 満足……………21人 やや満足……………28人
- 普通……………17人 やや不満足……………5人
- 不満足……………0人
6. 1日目の演習について
- (1)全体の印象について
- 満足……………19人 やや満足……………27人
- 普通……………14人 やや不満足……………8人
- 不満足……………1人 無回答……………2人
- (2)パソコンの操作などサポート態勢について
- 満足……………27人 やや満足……………15人
- 普通……………19人 やや不満足……………5人
- 不満足……………1人 無回答……………4人
- (3)経験者対象の問題について
- むずかしかった……………26人 普通……………12人
- やさしかった……………2人 無回答……………31人
7. 2日目の演習について
- (1)演習全体について
- 満足……………25人 やや満足……………20人
- 普通……………11人 やや不満足……………3人
- 不満足……………0人 無回答……………12人
- (2)回答にインターネットを利用しましたか?
- 主に利用した……………37人
- まあまあ利用した……………25人
- あまり利用しなかった……………2人
- 無回答……………7人
- (3)回答に書誌や参考図書を利用しましたか?
- 主に利用した……………12人
- まあまあ利用した……………32人
- あまり利用しなかった……………20人

無回答……………7人

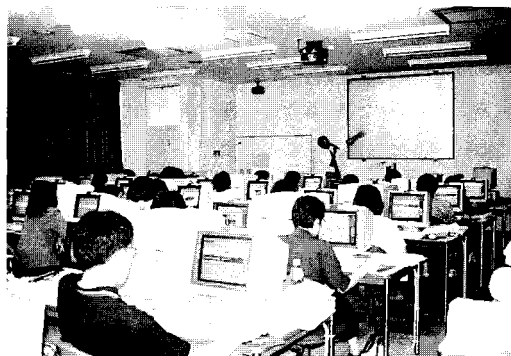
8. 研修会の運営方法等、全体的なことについてご感想をお聞かせください。
9. 今後の研修会について、あなたのご要望は?
10. その他、何かあれば自由にお書きください。

研修会全体については、スムーズに運営され、充実した研修会だったと高い評価を多く頂いた。また会場校や講師及び委員に対する感謝のことばも多数あった。ただし、1日目最初の講演時間が大幅に超過したことで、次の基調講演の意味づけが希薄になったこと、休憩も取れず疲れたという声も多く、講演は2つ位に絞る方がよいのではないかという指摘もあった。

コンピュータを使った演習では、自由に休憩を取ることが難しく、相当な疲労となったため強制的に休憩時間をとることが必要であったと思われる。機器構成がMacであることに抵抗を感じたという意見も多かったが、心配したほどの混乱はみられなかった。

情報交換会に関しては、とても参考になってよかったという意見と進行について一考を求める意見が多かったが、いずれにしても全体的な意見として情報交換会の必要性は高いと思われる。

「参考業務とインターネット」は、良いテーマだと思うので、今後も続けてほしいという声が圧倒的に多かった。通算15回目となるこの研修会は「参考業務と書誌」というテーマを昨年から「インターネット」と時代に即した形式に変更して行ったが、今回も全体的に高い評価を得ることができた。それは、実践的かつ専門的なこの研修会が非常に有意義で重要なものであることを物語っている。今後もこうした研修会の継続が望まれる。



■研修会に参加して

湘南国際女子短期大学 坂本宏子

「参考業務とインターネット」の研修会に参加しようか止めようかと心が揺れました。これからの図書館業務を考えればインターネットを知らねばならない。「でも・・・」と億劫だなと思う心。10月からのインターネット接続を控え、たった一人の図書館員は悩みました(他アルバイト2名)。「でも参加して本当に良かった。」(井の中の蛙は思いました。)

関根秀和大阪女学院短期大学学長の講演は、日々、短期大学の行く末を案じ、現実のジレンマの最中にある私には重いものでした。

榊原吉郎先生の「デジタル世界と図書館」は私の脳が“バグ”状態になっているにも関わらず、「へーッ!」「ふうん?」「あらーっ!」と感覚だけが反応するのです。21世紀に人はヴァーチャル・リアリティの世界とどう向き合っていくのでしょうか?とても興味あるお話でした。

山田伸枝先生の「多文化サービスとレファレンス」は、日本も多文化を受け入れざるをえない時代となった今日の状態を、分かりやすく解説していただき、いかに図書館の果たす役割が大きき、大切かを認識させられました。

そしていよいよインターネットを使ってのレファレンス演習ということでも緊張しました。インターネット1年生の私にも分かるようにと配慮された、そばについている極めの細かい指導体制に助けられ、ちょっとずつ興味が湧いてきました。用意されている書誌・参考図書へと、ともすれば走りたい気持ちを抑え、インターネットと取り組みました。

極小規模の図書館にとって、インターネットのどのような点が有効であるのか、有効的に利用するにはどのようにすれば良いのかは新たな課題です。インターネットは参考業務=図書館を変え、司書の業務をも一変させつつあります。コンピュータ・リテラシーの問題が云々される時代です。コンピュータは「習うより慣れよ」と言われますので、これを機会に「更に習い、更に慣れて」よりよい参考業務へ生かすべく、新しい刺激を脳に与え続けましょう。ありがとうございました。

長岡短期大学図書館 内田直美

8月末、残暑厳しい大阪での研修会に参加しました。

参考業務の研修会には何度か参加しましたが、インターネットを使う研修会は初めてでした。

普段カウンターで受ける利用者からの資料相談は多岐にわたります。図書だけではその要望に応えきれず、インターネットを利用する機会が増えています。しかし利用者が本当に必要とする情報を探し出すのは至難の業です。今回の研修に参加することで、よりよい探索方法が見つかるのではと期待し、会場へ向かいました。

3人の先生方による講演は、普段聞くことのできない話で大変有意義でした。特に関西国際センター図書館の山田先生の、日々研修生に接しておられるお話が興味深かったです。

午後はインターネット演習。Macを使うのは初めてでしたが、幹事の方々のサポートでなんとかこなすことができました。

夕方の懇親会では事前に配られたアンケートについて回答がありました。全国の図書館の事例が聞け、また参加者の方とお話しし、楽しい時間を過ごしました。

2日目は班に分かれ参考業務演習。どの班にどの設問があたるかは一定の時間まで発表されなかったため、やりやすそうなものから始めました。しばらくインターネットを使っていましたが、思うような検索結果が得られなかったため、書誌からも探しました。結局私たちの班にあたった設問はインターネットでは解決できないものでした。やはりインターネットは万能ではないようです。設問は全て関西国際センター図書館に実際寄せられたレファレンスということで現実味があり、勉強になりました。

インターネットはとても便利ですが、私などは安易に頼ってしまいます。ホームページの更新日時や信憑性を確認し、利用者に提供していこうと思います。

最後になりましたが、今回の研修会を準備された幹事の皆様にお礼申し上げます。

実践女子短期大学図書館 石川幸子

短期大学図書館に勤務して3年目の今年、希望していたこの研修会に参加することができた。

学生へのガイダンスの中で、インターネットの使い方を説明することはできても、レファレンスに活用するまでには至っていない。生来の機械音痴もある。調査に行き詰まるとついつい人を頼ってしまう。そんな状態を何とかしなければと考えていた。

課題の演習問題に取り組む中で、サーチエンジンの使い分け、柔軟なキーワードの発想、知っておくべきサイトなど大切なことをご教示いただいた。同時に電子媒体と紙媒体の横断的な調査の重要性も再確認できた。

演習をご指導くださった山田先生は前日の講演で、レファレンスに必要なのはお節介とプロ意識、勘も大切だが参考資料に精通していなければならないとお話になった。また図書館のサービスは、外国籍であるとか障害があるとか地域の枠など限定をつけられるものでもないとしめくくっておられた。短期大学の将来像を考えると、このような姿勢でレファレンスカウンターに立つことは、これからの図書館員にますます求められるのではないだろうか。

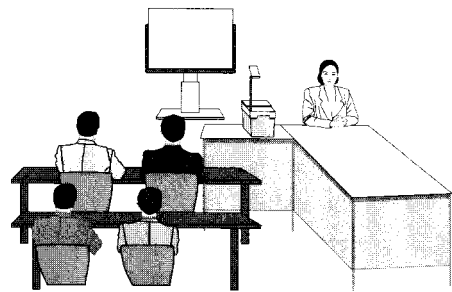
初日の関根先生の講演では、閉塞状況にある短期大学の今後の展望について、四年制大学のあり方をも含めて大学教育の再構築についてのお話があった。

先生は企業や社会が人間を評価するとき、市場価値のみで判断しがちであることを指摘されていた。個人の存在全体に価値を見いだすこと、自己を含めてすべての人間が有機的な関係を構築し、それが歴史的に繰り返されていることを識るべきである、というような内容だったと思う。こういった視点から特に短期大学での教育課程としてリベラルエデュケーションが重要との見解を示されていた。また、社会人が生活状況に応じた柔軟な制度に基づいて生涯学習を受ける場としては、4年制より短期大学が選択されやすいのではないかとのお話にも考えさせられた。

昨今の厳しい情勢の中では、図書館員といっても大学全体のことを考えながら、実際に他部署の業務とこれまで以上に深く関わりながらやっていくほかないであろう。

いろいろな意味で勉強になった研修会であった。準備から運営まで取り仕切って下さったスタッフの皆さん、ありがとうございました。

学名誉教授)のは、興味深い講演でした。また、ポストン美術館と共同で研究なさっている「平治物語」のデジタル化の大きな岡も見せていただいた事も印象的でした。それというのも私の勤めている図書館は美術系の資料の多い図書館ですので、分かりやすかったからかもしれません。もっとくわしくお話しただけしたら、よりよかったのにと、少し残念でした。インターネットの演習は初心者講習に参加しました。一日目は何とか出来たのですが、二日目は、なかなか分からない問題もありました。インターネットで検索していると、書誌検索が面倒になったり、日常聞かれるレファレンスと違ったことも戸惑いました。あまり分からない問題は、講師の方にお聞きすると、「いろいろ試してみましよう。案外答えは近くにあるかも。」となかなか答えまで教えてくれません。今となっては食わず嫌いの機械検索に少しなれるきっかけを得た気がします。また、良い企画をお願い致します。



成安造形短期大学附属図書館 前川ひろみ

平成12年度短期大学図書館全国研修会「参考業務とインターネット」は、どうしても参加したいと思っていた研修会です。前年度申し込みをしたのですが、定員オーバーで、参加できなかったからです。2日間のたくさんの講演や演習もとても参考になりましたが、特に基調講演の「デジタル世界と図書館」榎原吉郎氏(京都市立大



事務局報告

〈会 勢〉平成12年12月11日現在

北海道	19
東 北	20
関東甲信越	101
東海・北陸	43
近 畿	71
中国・四国	27
九 州	35
計	316 館

〈退会館〉

嘉悦女子短期大学図書館（関東甲信越地区）
 大手前大学伊丹・女子短期大学図書館（近畿地区）

〈会 議〉

平成12年度業務担当者連絡会議

日 時：平成12年12月7日（木）13:00～17:00

場 所：アルカディア市ヶ谷 私学会館

出席者：前園主計 会長

（青山学院女子短期大学図書館長）

陸川 博 事務局庶務担当

（跡見学園女子大学短期大学部図書館）

遠藤哲郎 事務局会計担当

（江戸川大学・女子短期大学総合情報図書館）

梅野智美 平成12年度会報担当

（九州大谷短期大学図書館）

濱岡賢二 平成12年度研修担当

（大阪信愛女学院短期大学図書館）

岡本 昭 平成13年度研修担当

（安田女子短期大学図書館）

三田村寿子 平成12年度紀要担当

（瀬木学園・愛知みずほ大学短期大学部図書館）

宗友道夫 平成13年度紀要担当

（大阪電気通信大学図書館）

議 事：1. 会長挨拶

2. 出席者自己紹介

3. 報告事項

①会勢

②平成12年度会計報告

③年間スケジュール

4. 協議事項

①会報について

②紀要について

③全国研修会について

議事終了後に懇親会を開いた。

〈本部役員会記録〉

平成12年度 第3回

日 時：平成12年9月13日（水）

場 所：青山学院女子短期大学図書館

課 題：①カルチャー・ジャパンへの委託保管資料
 の処置について

②平成12年度業務担当者連絡会議の開催に
 ついて

平成12年度 第4回

日 時：平成12年11月28日（火）

場 所：日本図書館協会会館二階会議室

課 題：①平成12年度業務担当者連絡会議について

②今後の日程について

〈出 張〉

日 時：平成12年8月30日（水）

場 所：大阪女学院短期大学

前園会長、陸川事務局庶務担当が全国研修会に出席

〈カルチャー・ジャパンの委託保管資料実地調査〉

日 時：平成12年8月24日（木）

場 所：カルチャー・ジャパン倉庫

（横浜・山下埠頭）

前園会長、陸川事務局庶務担当がカルチャー・ジャパ
 ン松本、草間氏立会いのもとに委託保管資料33ケースの
 内容を調査した。



地区活動報告

〈北海道地区〉

平成12年度 職員研修会

日 時：平成12年8月25日（金）10:15～17:00

会 場：北海道文教大学2号館（恵庭）

コンピュータ・ラボラトリーCL-2

出席者：14館24名

1. 研修会

午前の部 10:30～12:00

内 容：自館開発の図書館情報管理システムの講演と
デモンストレーション及び研修参加者による
体験実習

講 師：安藤、友晴氏

(稚内北星大学・短期大学部図書館)

稚内北星大学短期大学部では、情報メディア学部も
あり学内のコンピュータシステムは新しい技術の有効
性を実証するという大学のアイデンティティに基づい
て自作の物を使用することが原則であることから図書
館でも図書館業務の支援・図書館利用者支援という2
つをサポートするために自作システムを作成したとい
う経緯についての説明があった。また機能面では、資
料登録・資料検索・貸出し等現在図書館で使用してい
るシステムについての詳しい内容の説明があり、また、
現在のシステムの特徴や欠点をあげられ、今後の課題
や希望を述べられた。後に使用したデータベースやサ
ーバについての説明が資料に基づいて行われた。

午後の部－1 13:30～15:00

内 容：インターネット上の情報源及び情報検索実習
(レファレンス・ツール及び代行検索のための)

インストラクター：安藤 友晴氏

(稚内北星大学・短期大学部図書館)

アシスタント：北海道文教大学・短期大学附属図書館
司書

午後の部は全員コンピュータを使用し、YOHOO!
やWebキャットを利用し各自で情報検索実習を行っ
た。

午後の部－2 15:15～16:15

内 容：インターネットを利用した検索・発注サービ
スについて

講 師：佐藤 宏典氏

(株紀伊国屋書店北海道営業部)

最初にビデオにより10分間の紹介があり、次にサー
ビス内容や利用方法など説明を受けながら、各自でコ
ンピュータを使用して発注方法を実際に体験した。

〈東北地区〉

平成12年度 東北地区協議会総会・研修会

日 時：平成12年10月13日(金)

場 所：青森市の星短期大学(総会)

ホテルJALシティ青森(研修会)

出席者：13館14名

1. 総 会

議 題：①平成11年度活動報告

②平成11年度決算報告・監査報告

③平成12年度事業計画

④平成12年度予算

⑤平成12年度全国理事会・総会報告

⑥脱会館・名称変更館について

⑦来年度担当館について

研修会

討議事項：①図書館の地域開放について

②資料の収集・廃棄の基準について

③図書管理について(図書の紛失)

〈関東甲信越地区〉

1. 会 勢(平成12年12月11日現在) 101館

2. 幹事会

平成12年度 第2回

日 時：平成12年6月27日(火)

場 所：紀伊国屋書店新宿本店9階会議室

報 告：①会勢

②総会出席者

③アンケート回収状況

議 題：①会費請求書の記載事項、公印について

②会報第29号について

③研修会について

平成12年度 第3回

日 時：平成12年9月1日(金)

場 所：目白大学新宿図書館

報 告：①会勢

②会報第29号について

③「短期大学図書館研究」第21号執筆者の
推薦について

④全国研修会出席報告

⑤会費納入状況

議 題：①研修会開催について

②国立情報学研究所総合目録委員会委員の
選出について

③次期幹事館との合同幹事会開催日につ
いて

④図書館・館員名簿の記載事項について

平成12年度 第4回

日 時：平成12年11月28日(火)

場 所：日本図書館協会会館

報 告：①会勢

②合同幹事会について

③合同幹事会引継ぎ資料作成について

議 題：①今後の日程について

3. 総 会

日 時：平成12年6月27日（火）

場 所：紀伊国屋書店新宿本店9階会議室

報 告：①平成11年度活動報告

②平成11年度決算報告

③平成12年度のこれまでの活動について

④平成12年度幹事役割分担について

議 題：①平成12年度活動方針（案）

②平成12年度予算（案）

③その他

4. 「短期大学図書館研究」第21号原稿募集について

「短期大学図書館研究」第21号編集委員会の要請に応じ、平成12年7月7日に加盟館へ原稿応募について文書を配布し、地区協議会から一般論考2名、特集テーマ4名の計6名を推薦した。

5. 研修委員会

日 時：平成12年9月13日（水）

場 所：青山学院女子短期大学図書館

議 題：平成12年度地区協議会研修会について

6. 事務連絡会

日 時：平成12年10月2日（月）

場 所：日白大学新宿図書館

研修会開催通知、非加盟館への入会勧誘案内発送

7. 研修会

日 時：平成12年11月28日（火）10:00～16:30

場 所：日本図書館協会会館二階会議室

テーマ：「短大図書館規模別モデル作成演習

ーグループ別ケース・スタディー」

講 師：竹内紀吉氏（千葉経済大学短期大学部教授）

アドバイザー：前園主計氏

（青山学院女子短期大学教授、私

短図協会長）

参加者：20名

8. 会報第29号の発行

平成12年9月20日

9. 非加盟館への入会勧誘

平成12年度地区協議会研修会開催通知と一緒に会報第29号を同封して非加盟館へ送付し、入会を勧誘した。

（東海・北陸地区）

1. 平成12年度 第3回幹事会

日 時：平成12年7月21日（金）13:00～15:00

場 所：愛知みずほ大学短期大学部

出席者：9館12名

議 題：①平成12年度総大会の反省について

②平成12年度研修会の実施要項について

③加盟館へのアンケート2種について

「資料保存」

「図書館資料とカリキュラムの関係」

④会報「No. 32」特集アンケートについて

⑤「役員選出アンケート」

結果の処理について

⑥本部事務局の輪番について

⑦その他

・第4回幹事会の日程

・平成13年度総大会の日程

2. 平成12年度 第2回編集委員会

日 時：平成12年7月21日（金）15:10～16:00

場 所：愛知みずほ大学短期大学部

出席者：9館12名

議 題：原稿依頼について

3. 平成12年度 情報交換・研修会

日 時：平成12年10月5日（木）17:30～19:30

場 所：ホテルプラセオ名古屋

出席者：17館21名

4. 平成12年度 研修会

日 時：平成12年10月6日（金）9:30～15:30

場 所：ホテルプラセオ名古屋

出席者：23館28名

テーマ：「21世紀にふさわしい短期大学図書館を求めて」

内 容：①講演「必要とされる図書館」

高橋律子氏（名古屋大学附属図書館）

②フリートーク

③アンケート結果報告

「資料保存」について

④ビデオ上映

「利用のための資料保存」

⑤事例報告「pH測定による資料管理」

柴田さとみ氏（瀬木学園図書館）

⑥役員選出（規約改正）と本部事務局輪番

についての意見交換

5. 平成12年度 第4回幹事会

日時：平成12年12月15日（金）11:45～15:00

場所：愛知みずほ大学短期大学部

出席者：9館13名

- 議題：①平成12年度研修会の反省について
 ②会報「No. 32」の編集について
 ③役員選出（規約改正）の原案について
 ④本部事務局の輪番について
 ⑤平成13年度総大会について
 ⑥平成13年度研修会について
 ⑦平成16・17年度会長校について
 ⑧その他

6. 平成12年度 第3回編集委員会

日時：平成12年12月15日（金）15:10～16:00

場所：愛知みずほ大学短期大学部

出席者：9館13名

- 議題：①原稿編集について
 ②原稿執筆予定者一覧

《近畿地区》

1. 幹事会

第1回 平成12年9月21日（木）13:30～17:30

第2回 平成12年11月10日（金）15:00～19:00

第3回 平成12年12月1日（金）13:30～17:30

第4回 平成13年2月9日（金）10:00～12:00

2. 全国研修会準備委員会

第8回 平成12年7月24日（金）13:30～18:00

第9回 平成12年8月22日（火）10:00～20:00

全国研修会 平成12年8月30日（水）9:00～18:30

〃 平成12年8月31日（木）9:00～17:00

第10回 平成12年10月20日（金）14:00～17:30

（反省会）

《平成13年度 研修会予告》

21世紀を記念する研修会を計画しています。近畿地区以外の皆様も是非多数ご参加ください。

第1回研修会

日時：平成13年5月＊日時未定・調整中

（3月決定予定）

場所：大阪芸術大学短期大学部伊丹学舎

講演：（対談形式）

「21世紀を生きる：記録する文化」（仮題）90分

浅井慎平氏（写真家、大阪芸術大学教授）

見学：図書館、スタジオほか／懇親会

あらゆる資料が電子化され、本そのものも形態を変えようとしているが、人々の感性を揺り動かすものは、深い記憶に基づくものと思われる。図書館員として、私たちは21世紀にどのような文化を保存し、人々に何を伝えることができるのか。記録する媒体としての写真をテーマに、写真家浅井慎平先生に写真への情熱や人となりをお話いただくことによって、図書館が今必要としているものを発見し、また再認識できるのではないかと考えている。

第2回研修会

日時：平成13年9月6日（木）～7日（金）

場所：京都精華大学情報館

1日目

テーマ：「マンガと図書館」＊定員 200名

（近畿地区以外も館種を問わず歓迎）

講演：「情報館のマンガ収集をめぐる」（仮題）

50分

牧野圭一氏（評論家、京都精華大学教授）

講演：「漫画文化を語る」（仮題）90分

竹宮恵子氏（漫画家、京都精華大学教授）

見学：情報館、自在館ほか／懇親会

2日目

テーマ：「図書館ホームページ作成講習会」

講師：小松泰信氏 ＊定員 50名（近畿地区のみ）

近年日本のマンガは日本文化としてその価値が認められ、世界的にも評価が高まってきた。2000年版教育白書によると「マンガは日本文化であり現代の表現」と位置付けられた。今後、マンガに対する利用者のニーズが増加するのは当然といえる。しかし多くの図書館では、まだまだマンガを図書館の資料として受け入れることに抵抗があると思われる。こうした点から、1日目は全国の図書館に呼びかけ、図書館におけるマンガの扱いについて考えるための研修会とする。平成12年度のマンガ学科の設置に伴い20,000冊のマンガを購入し、利用に供している京都精華大学情報館の事例を情報館の現館長で、マンガ学科教授の牧野圭一先生にお聴きする。さらに、教授であり漫画家でもある竹宮恵子先生に漫画文化やマンガの持つ魅力と図書館がマンガを提供する意義などについて、ご講演いただく。また、地域開放で一般利用登録者が3,000人を越える情報館の魅力を探る見学ツアーと、マンガ学科創設とともに建てられた自在館の見学を行う。

2日目は近畿地区協議会加盟館を主体に、図書館の

広報としての自館ホームページ作成演習を行う。特色ある図書館づくりをされている情報館の事例を参考に、各館が持つ蔵書の特性や活動を大学自体の魅力を高める素材として捉え、その広報について考える機会としたい。

お問合せ先：大阪芸術大学短期大学部伊丹学舎図書館

TEL&FAX 0727-77-9956（直）

担当：多賀谷

E-mail lib@it.osaka-geidai.ac.jp

tagaya@it.osaka-geidai.ac.jp

〈中国・四国地区〉

1. 第1回役員校連絡会議

日時：平成12年6月16日（金）16:00

場所：広島市立大学図書館

出席者：3館6名

議題：①平成12年度全国理事会・総会報告
②平成12年度地区総会・研修会開催等

2. 第2回役員校連絡会議

日時：平成12年8月28日（金）11:00

場所：広島文化短期大学図書館

出席者：3館5名

議題：平成12年度地区総会・研修会審議事項等

3. 第15回（平成12年度）総会・研修会

日時：平成12年9月13日（水）～14日（木）

場所：広島ガーデンパレス
放送大学広島学習センター

総会：平成12年9月13日（水）

①会務報告

②協議事項

③事例報告

「雑誌受入昨今（主として外国雑誌）」

山本哲也氏（四国大学短期大学部図書館）

「館員2人での週及入力」

福田房子氏

（ノートルダム清心女子短期大学図書館）

④承合事項

研修会：平成12年9月14日（木）

①学びは楽し

(1)放送大学について

小笠原道雄氏（放送大学教授、放送大学広島学習センター長）

(2)施設見学

②講演

演題：「マルチメディアの世界」

講師：線田智晴氏

（安田女子大学助教授）

4. 今年度総会・研修会議事要録の発行

平成12年9月26日、加盟館配布

5. 私短図中・四国協ニュースの発行

平成12年10月19日、第17号、加盟館配布

〈九州地区〉

1. 海外視察旅行実施報告

国名：韓国（釜山・慶州）

旅行期間：2000年8月3日～5日（2泊3日）

訪問大学：釜山女子大学（釜山市）

参加者：8名

図書館研修の一環として海外視察旅行を実施した。訪問先は、平成12年度総会・研修会に招待し、「韓国の大学図書館」と題し報告講演をいただいた釜山女子大学中央図書館（短大）である。近代的な施設設備を誇る同図書館は、「情報教育先進国」の威信と学生への細やかな配慮と工夫を兼ね備えた快適な図書館であった。

新規加盟館紹介

植草学園短期大学図書館

図書館長 柳原 修



植草学園短期大学は、徳育を教育の根幹として96年の伝統を持つ植草学園を母体にした、21世紀の福祉社会づくりの担い手を育成する福祉系短期大学です。誠実で道徳的实践力を持って、地域福祉に貢献できる人材を養成するため、本学は、高齢者福祉に従事する介護福祉士養成の「地域介護福祉専攻」と、わが国の大学・短大では初めての障害をもつお子さんの保育を担うことのできる保育士養成の「児童障害福祉専攻」を設けています。この「児童障害福祉専攻」には、一年間の専攻科も併設されています。そして21世紀の新年には初めてこれらの卒業生を世に送り出します。

本学は千葉市郊外（千葉都市モノレール：千城台北駅下車徒歩10分）の豊かな美しい緑に囲まれた5万㎡のキャンパスで、教職員と学生、そして学生同士の暖かい秩序ある雰囲気の中で、360余名の学生がそれぞれ勉学や課外活動に励んでいます。

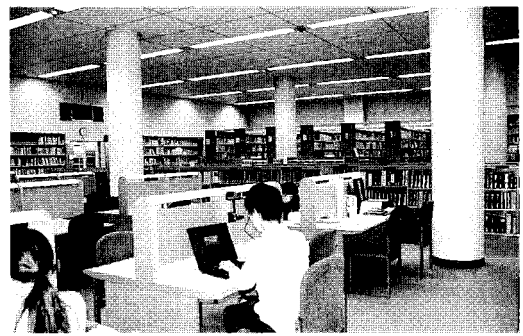
本学の付属図書館は、この教育の趣旨に沿って、介護、福祉、保育、障害関係等の専門図書・視聴覚教材をはじめ、徳育教育、人格形成に役立つ幅広い教養領域の図書を備えて、研究・調査に役立ち、また、心の豊かさを深める良書に出会える場を提供しようとしています。蔵書数は約11,000冊、学術誌55稿、視聴覚資料340余点所蔵しています。また、総面積252㎡に45余の閲覧席に加え、読書会などに利用する「リーディング・ルーム」も設けており、その他、ビデオ・ブースも備えています。

さらに、自由にインターネット検索や電子メールのやりとりをすることができるマルチメディア・コーナーも近日、新たに設置予定です。なお、本学図書館は、キャンパス

の中央に位置し、学生ホールにも近く、利用しやすい場所にありますが、今後はさらに、地域社会に開かれたコミュニティカレッジづくりに努め、福祉に関する情報資料の提供、地域福祉の情報センターとしての役割を担うことも視野に、整備を進めようと考えています。皆様には、今後とも相互協力等で御指導いただくことになるかと存じますが、どうぞよろしくお願い致します。

星美学園短期大学図書館

図書館長 我妻多賀子



星美学園短期大学は、東京都北区赤羽の高台に位置するイタリア系カトリックミッションスクールです。幼稚園から短期大学まで一つの敷地に存在し、今年で学園創立50周年を迎えました。

短期大学は、昨年の4月よりこれまでの国文学科・生活文化学科が5つのコースからなる人間文化学科となりました。これに従来からある幼児教育学科を加えて現在350人の学生が学んでいます。なかでも、イタリア語イタリア文化コースは、私立短大としては日本で初の試みです。

本学の教育理念は、カトリックの精神と価値観による人間形成と豊かな教養、優れた専門知識・技術を身につけた全人教育を施すことにあります。また、学園の母体の本部がイタリアにあることから、留学や研修旅行なども自由にできるようになっています。

図書館は、延べ面積763㎡、閲覧席60席、視聴覚ブース8、蔵書は約5万2千冊です。ビデオテープやCDなど視聴覚資料も所蔵しています。蔵書の構成としては、幼児教育・日本文学・家政学系が多いですが、特色あるコーナーとして「キリスト教関係図書コーナー」「イタリア関係図書コーナー」を設置し、積極的に資料を収集しています。カウンターには、蔵書検索用と、インター

ネット専用パソコンがそれぞれ1台ずつあり、毎日多数の学生が利用しています。また、図書館内には無線LANの設備も整っており、持ち込んだノートパソコン等で簡単にインターネット接続もできます。

小規模な図書館であるため、資料的に不十分な点もありますが、逆に学生・教員とのコミュニケーションを充実させ、きめ細やかなサービスができるよう心がけています。

〈平成13年度全国研修会のご案内〉・・・・・・・・

平成13年度全国研修会は、広島のア田女子短期大学で9月13日(木)～14日(金)に開催します。テーマは「参考業務と書誌」です。全国の皆様是非ご参加ください。お問合せは、中国・四国地区 ア田女子短期大学図書館(担当 岡本)まで連絡して下さい。

〈事務局からのお知らせ〉・・・・・・・・・・・・・・・・

本協議会発行の下記出版物の在庫がありますので、無償配布します。ご希望の図書館は事務局・陸川 博(〒112-8687 文京区大塚1-5-2 跡見学園女子大学短期大学部図書館 TEL&Fax 03-3943-1368)までお申込みください。申込み締切：平成13年3月5日

①私立短期大学図書館総覧 1996

②短期大学図書館研究 第8号～第17号(ただし、部数に限りのある号があります)

〈会報担当〉九州大谷短期大学図書館 梅野 智美



◀編集後記▶

会報第48号をお届けします。今号は、昨年8月に開催されました全国研修会関係記事を中心にまとめました。昨年度に引き続き、「参考業務とインターネット」をテーマにした研修会でした。最近、参考業務にインターネットを使う場合が増えています。問題によってはインターネットを使ったり、冊子体を使ったりと媒体の選択が必要で、司書の私たちはその選択をいかに早く見極めるかが重要な鍵になってきています。今回も参加させていただきましたが、大変有意義な研修会でした。まだ参加されていらっしゃる方は是非参加してみてください。

今号で、会報担当の業務が終わりです。2年間の任務を無事に遂行することができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。心よりお礼申し上げます。

(梅野)

